



【問合せ】  
学校教育課  
☎ 773・6700

市内の学校で、電子黒板やタブレット端末などの学習用ICT機器が導入され、3年目となりました。GIGAスクール構想や学校での活用事例を紹介します。

## 市内の学校でのGIGAスクール構想の実現に向けた取り組み

### GIGAスクール構想とは

文部科学省が推進する、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習用ICT端末と高速ネットワーク環境などを整備する計画のことです。

これまでの  
教育実践の蓄積

×

ICT

=

- 学習活動の一層の充実
- 主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業改善

参考：文部科学省「(リーフレット) GIGA スクール構想の実現へ」

市内の各学校でも、これまでの教育実践の蓄積に加え、学習用ICT機器を活用した新しい授業スタイルで児童生徒の学びを深めています。学習支援ソフト・英語のデジタル教科書の活用や、課題の提出・家庭学習での活用、授業の中で写真や動画の撮影を行うなど工夫しています。

また、インターネットの危険性やタブレット端末の使用ルールなどを指導し、安全・安心に活用できるような情報モラル教育に取り組んでいます。



六日町小学校の授業の様子



南魚沼市教育委員会  
教育長 岡村 秀康

ICTの活用で、学び方が大きく変わってきました。市内の小中学生は、1人1台のタブレット端末をもち、新しいスタイルの学習に取り組んでいます。端末を使って全員が意見を発表し電子黒板で共有するなど、協働的に学ぶ授業が展開されています。学校の授業だけでなく、家に持ち帰り、家庭学習に使うこともあります。先生たちは、電子黒板を駆使して、子どもたちが生き生きと学習できるようにさまざまな工夫を続けています。

タブレット端末は、誰もが取り残されることなく、1人ひとりの学びを深めるための学習道具です。これからもタブレット端末や電子黒板を活用した教育を推進して、子どもたちの学ぶ意欲を高めていきます。今後の発展にご注目ください。